

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括 30年11月

概 況		1
漁業・水産加工業		2
農業・軽種馬生産業		3
建設業		3
木材・製材業		4
卸・小売業・観光		4
倒産・雇用状況		5
そ の 他		5
指 標		6～7
トピッ ク		8
インフォメーション		9

《業 種 別 総 括》

概 況

30 年 11 月

〔漁 業〕

- ・ 11月の総水揚げは、漁獲量・漁獲金額ともに前年を上回った。日高管内の定置網漁は全地区で終了した。秋鮭、スケソの水揚げが前年比で大幅に増加した。スケソウ漁は、えりも地区で好調となり、960ト(前年比700ト増)の水揚げとなっている。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 道営ホッカイドウ競馬の11月1日の重賞レースの1、2着が逆に判定された問題で、道は20日、誤審の損失が現時点で1億9,200万円に上ることを明らかにした。
- ・ 道営ホッカイドウ競馬は15日、今期の全日程を終え閉幕した。馬券発売額は最高だった前年度比2.0%増の251億4,300万円。胆振東部地震による中止の影響はあったが、今季も全体の8割を占めるインターネット販売が好調だった。

〔建設〕

- ・ 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)の月中発注額は3,400万円で、前年を400万円下回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額)は10億5,700万円で前年を3億1,800万円下回った。
- ・ 月中建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は、8件で前年を2件上回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

- ・ 市場に流通しにくい「埋もれた水産食材」で開発した加工品で日高の水産物をPRする「第7回浜のかあさん食べもの市」が日高振興局で行われた。見かけや利用のしにくさから敬遠される水産物に着目し、おいしく加工して有効利用を広くPRする魚食普及と地産地消の一環。
- ・ 店内の大半が空き店舗となっている町中心市街地の「静内ショッピングプラザピュア」に農産物などの直売所「春那」がオープンした。主力物販店の閉鎖から約4カ月ぶりに食料品店が入居した。近隣農場で作られた野菜や日配品、肉、魚も扱っており、待ちわびた住民らで終日にぎわった。

〔観光・その他〕

- ・ 札幌市のサッポロファクトリーで3日、広尾町から贈られたトドマツを使った巨大クリスマスツリーの点灯式が行われた。発光ダイオード(LED)約4万個がともると、約5,500人が一足早いクリスマスムードを楽しんだ。トドマツはサンタの町として知られる広尾町から毎年寄贈され、今年は樹齢約35年で高さ14.1m、重さ3.4ト。クリスマスの装飾品約1,300個もツリーを彩っている。
- ・ 有形、無形の道内遺産、「北海道遺産」に蝦夷三官寺の様似町の等澍院(本町)が、「未来に伝えるアイヌと和人の関係史」が見て取れる貴重な寺院として、北海道遺産に選ばれた。

〔雇 用〕

- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区、全道ともに前年を上回った。

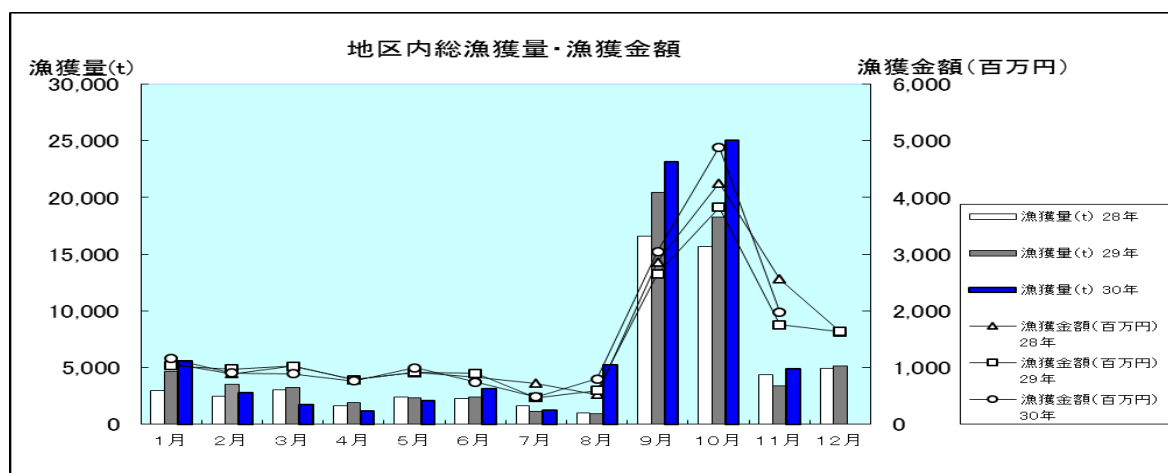
〔総 括〕

- ・ 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証㈱の保証金額)、は前年を下回り、町発注工事も前年を下回っている。漁業は、秋サケ漁の好調が続き、えりも、様似、浦河で、スケソウ漁が大幅な増加となり、漁獲量・漁獲金額ともに前年を上回っている。食料品小売業・サービス業は、胆振東部地震後、ほぼ通常に回復している。秋サケ漁は、11月23日までに全地区で終了した。漁獲量は前年の2倍以上となった。地区内は、漁業関係に活気がみられ、地場産品の特価セールは盛況となった。一方、小売飲食業関係は震災後の自粛ムードや燃料価格の高騰から節約思考が強まり、個人消費はやや冷え込み、地区内景況は、回復感が窺えるも横這いで推移している。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 秋サケ、カレイ、タコ、ツブ漁等。〔沖合い漁業〕 タラ・スケソウ、イカ漁等。

総漁獲量 4,911^ト・金額 19億8,000万円(前年同月比1,530^ト増・2億2,800万円増)



タコ漁	83 t	49 百万円	(前年同月比 29 t 減	16 百万円減)
カレイ漁	121 t	82 百万円	(前年同月比 32 t 増	13 百万円増)
ツブ漁	62 t	63 百万円	(前年同月比 16 t 減	19 百万円減)
底曳き網漁	1,582 t	205 百万円	(前年同月比 152 t 増	106 百万円減)
ホッキ漁	60 t	18 百万円	(前年同月比 30 t 増	3 百万円増)
昆 布	280 t	441 百万円	(前年同月比 28 t 増	67 百万円増)
タラ・スケソウ漁	1,358 t	249 百万円	(前年同月比 889 t 増	52 百万円増)
定置網漁	856 t	599 百万円	(前年同月比 561 t 増	303 百万円増)
サンマ漁	174 t	17 百万円	(前年同月比 104 t 減	24 百万円減)
毛ガニ漁	15 t	60 百万円	(前年同月比 増減なし	7 百万円減)
イカ漁	102 t	59 百万円	(前年同月比 19 t 減	7 百万円減)
シシヤモ漁	72 t	85 百万円	(前年同月比 1 t 増	29 百万円減)
その他	146 t	53 百万円	(前年同月比 5 t 増	2 百万円減)

- ・ 11月の総水揚げは、漁獲量で前年を1,530^ト上回り、漁獲金額は2億2,800万円上回った。漁獲量では、秋サケ、タラ・スケソウ漁が大幅な増加となっている。漁獲金額も、秋サケ、タラ・スケソウ漁、昆布が大幅に増加している。特に、スケソは、えりも町で豊漁となり、水揚げは960^ト、前年比700^トの増加となっている。また、様似町、浦河町でも好調となっている。
- ・ 日高沿岸の秋サケ定置網漁は11月23日までに全地区で終了した。全体の漁獲量は前年の2倍以上の6,803^ト（前年比213.2%）、金額は約4割増の46億7,288万円（同139.1%）で2年連続の記録的な不漁から3年ぶりに回復。特に襟裳岬から西側のえりも、様似、浦河地区は好調だった。一方、襟裳岬から東側と新ひだか町静内から西側の地区は、過去5年平均に比べ金額は38.2%（えりも町）～88%（静内）と低調で、地区で明暗を分けた。魚体は前年の3.5^{キロ}から3.24^{キロ}と小型化。昨年は1^{キロ}当たり1,053円まで高騰した単価は687円と35%ほど低下した。襟裳岬以东など一部地区を除き全体では過去5年平均を上回る水揚げ量と金額になった。様似地区は5年平均の約2倍の8億5,600万円となり、自主規制で10月26日から各系統で順次網上げになり、早めに終了。一番不漁だったのは襟裳岬周辺の東側で、水揚げは5年平均の3割まで届かず、金額も4割を割り込んだ。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区)（「t」はトンを表しています）

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・ 地方・中央競馬の交流戦でダートの祭典、JBC3競走(いずれもGI)が4日、京都競馬場で開かれ、スプリントは新冠町のノースヒルズ、レディスクラシックは浦河町の辻牧場、クラシックは新ひだか町の岡野牧場といずれも日高管内の生産馬が優勝した。3勝独占は2015年以来、3年ぶり。
- ・ 道営ホッカイドウ競馬の11月1日の重賞レースの1、2着が逆に判定された問題で、道は20日、誤審の損失が現時点で1億9,200万円に上ることを明らかにした。内訳は正しい着順の馬券払戻金が1億200万円。正しい馬券購入者の特定に向けた作業などの委託費に7,000万円。2着と判定された馬の馬主に1着賞金を払う経費も2,000万円に上る。
- ・ 浦河高校馬術部が来春の新入部員確保に地方競馬のレースを生中継するインターネット番組に出演した。ホッカイドウ競馬関係者らが協力した。番組担当の実況アナウンサーが事前調整から当日の掛け合いまで引受け「競馬番組で高校生が部員募集するなんて他には例がない」と笑顔を見せた。

〔農 業〕

- ・ 平成29年度の野生鳥獣による農林水産業被害額は6年ぶりに増加し、前年度より7,400万円増の47億4,900万円になった。日高管内の被害総額は前年比4,200万円増の4億9,800万円に増加。エゾシカ被害が大半を占め、管内は4億6,900万円となった。道内全体で被害額の大きいエゾシカの被害作物は、牧草が52.3%で約半数。日高管内はエゾシカやヒグマ、アライグマなどの獣被害が4億9,200万円、カラス、カモメなど鳥類被害が600万円。管内別被害は、釧路の12億6,600万円を最大に、日高管内が4番目に多い。市町村別で、被害額が1億円超は5管内10市町あり、釧路管内4市町に次、根室管内2市町と並び、日高管内2町(浦河、新ひだか町)は2番目に多い。

〔花き栽培〕

- ・ 11月の花き出荷実績は、65万2千本、金額8,106万円(前年70万7千本、9,106万円)。

建設業

〔公共工事〕

- ・ 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は、10億5,700万円で、前年同月比3億1,800万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	3	0	1	4	10	0	13	23	4
浦 河 町	0	2	3	5	0	7	4	11	0
様 似 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
え り も 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1
広 尾 町	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	3	2	4	9	10	7	17	34	8

- ・ 町発注工事(新ひだか～広尾地区)は9件、3,400万円となった(前年同月9件、3,800万円)。工事発注状況をみると、前年同月比では、件数で同数、金額は400万円下回った。
- ・ 月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は8件で、前年を2件上回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が1,055ト(前年936ト)で前年比12.7%の増加。出荷金額は1,820万円(同1,664万円)で前年比9.4%増加。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・地物野菜類は終盤を迎え、出荷は少なくなっている。果物類は、本州の台風被害影響が多少あるが出荷は順調となっている。価格は総じて、やや高値となっている。

〔小売業・飲食業〕

- ・新冠西泊津の日高食肉センター主催、エスフーズ共催の師走前の道産豚肉大セール「第7回豚のびっくり市」が開かれた。センターで処理・加工された豚肉のほとんどは道外へ出荷されていることから、地元の人たちにも味わってもらいたいと、毎回格安で提供している。
- ・広尾町の十勝港で水揚げされた中から厳選したマイワシを急速冷凍し、「大トロいわし」の商品名で販売している池下産業は、食品安全マネジメントの国際認証規格「ISO22000」を取得した。漁業者と提携し、鮮度にこだわり、大型のイワシをマイナス120度の液体窒素で急速冷凍して1匹ずつ真空保存している。脂の乗ったイワシの鮮度を保って一年中提供できる。

〔観光・その他〕

- ・「いい夫婦の日」の22日、広尾町のひろおサンタランドで、苫小牧在住の夫婦が結婚式を挙げた。約15万球のイルミネーションが、2人を温かく祝福した。サンタランドでの結婚式を推進する有志団体「広尾スタイルウェディング」が企画した。インターネットのクラウドファンディングで支援を募り、結婚式を挙げていない夫婦を中心に式をプレゼントしている。
- ・冬の味覚「サケ飯ずし」のつくり方体験が、えりも町で行われ札幌・帯広方面などから25組42人が参加して、“えりもの味づくり”を体験した。昨年はサケの極端な不漁で中止したが、参加者の多くは町内に宿泊する根強い人気を保っている。全長60センチほどの生サケを、野菜、調味料などを含めて2匹を購入。参加者たちは早速、漬物コンクール入賞常連者や漁協女性部のサポートで、樽に漬け込んで持ち帰った。町産業振興課では、希望者への定期連絡を電話やメールで行うことにしている。
- ・えりも町南部で大規模風力発電所の建設計画が進められていることを受け、町内では、頻発する停電の解消や工事関係者の長期滞在による経済効果に期待する声が上がっている。その一方で、野鳥が風車に衝突する「バードストライク」など自然環境への影響を心配する声も聞かれている。事業は太陽光発電事業などを手がけるアールイー・パートナーズ(大阪)などが計画。歌別、庶野両地区の町有地などに高さ84メートル、ブレード(羽根)の直径117メートルの風力発電機48基を建てる考え。えりも町は「えりも特有の強い風は厄介者とされてきたが、資源として役立てば町としてもありがたい」と歓迎。えりも町旅館組合も、「定期的な滞在が見込め、宿泊施設や飲食店が潤う。人口減少が続く中ありがたい」と話している。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- ・ 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、1件(前年同月0件)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、2件(前年同月1件)、負債総額は1億8千万円(同2千万円)。

〔道内の倒産〕

- ・ 北海道の倒産件数は18件(前年同月27件)、負債総額は20億円(同46億3千万円)、倒産件数は前月比3件増加、前年比9件の減少となった。
(東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

- ・ 全国の倒産件数は718件(前年同月677件)、負債総額は1,212億7千万円(同1,456億6千万円)。
倒産件数は前月比12件減少、前年比で41件増加した。

〔雇 用〕

- ・ 11月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.79倍で前年比0.19ポイント上昇、前月比では0.02ポイント下降した。有効求人数は1,168人で前年比128人増加、前月と同数となった。有効求職者数は654人で前年比5人増加、前月比で7人増加した。全道の月間有効求人倍率は1.23倍で前年比0.05ポイント上昇した。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- 11/ 3 第54回 京王杯2歳ステークス (GⅡ)
ファンタジスト 号 (日高町 Shall Farm 殿生産)
- 11/ 4 第18回 JBCスプリント (JpnⅠ)
グレイスフルリーブ 号 (新冠町 株ノースヒルズ 殿生産)
- 11/ 4 第18回 JBCクラシック (JpnⅠ)
ケイティブレイブ 号 (新ひだか町 岡野牧場 殿生産)
- 11/ 4 第18回 JBCレディスクラシック (JpnⅠ)
アンジュデジール 号 (浦河町 辻 牧場 殿生産)
- 11/10 第23回 武蔵野ステークス (GⅢ)
サンライズノヴァ 号 (日高町 ヤナガワ牧場 殿生産)
- 11/10 第20回 京都ジャンプステークス (J・GⅢ)
タマモプラネット 号 (新ひだか町 前田牧場 殿生産)
- 11/17 第23回 東京スポーツ杯2歳ステークス (GⅢ)
ニシノデイジー 号 (浦河町 谷川牧場 殿生産)
- 11/25 第63回 京 阪 杯 (GⅢ)
ダノンスマッシュ 号 (新ひだか町 ケイアイファーム 殿生産)

ホッカイドウ競馬発売成績累年比較

(人、円)

年 次	開催日数	総入場者数	発売金額	1日当たり発売額	計画対比	前年対比
2014	15開催80日間	280,187	15,706,698,980	196,333,738	112.0%	112.1%
2015	15開催80日間	279,982	16,900,139,110	211,251,739	113.5%	107.6%
2016	15開催80日間	267,539	20,355,012,180	254,437,652	117.6%	120.4%
2017	15開催80日間	265,978	24,641,214,240	308,015,178	114.0%	121.1%
2018	16開催76日間	271,337	25,143,427,050	330,834,566	99.3%	102.0%

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指標》

1 営業区域の人口・世帯数動向（平成30年11月現在）（単位：人）

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	5,064	-95	-30	2,549	-14	-26
日 高 町	11,931	-283	-23	6,206	-60	-7
新 冠 町	5,571	-10	-6	2,762	36	8
新ひだか町	22,695	-341	-32	11,768	25	-3
浦 河 町	12,467	-161	-13	6,767	-2	1
様 似 町	4,328	-99	-6	2,206	-18	-7
え り も 町	4,727	-126	0	2,133	-19	9
日高地区合計	66,783	-1,115	-110	34,391	-52	-25
広 尾 町	6,892	-153	-16	3,374	-44	-3
大 樹 町	5,628	-29	0	2,728	28	-4
日高・十勝地区合計	79,303	-1,297	-126	40,493	-68	-32
札 幌 市	1,966,717	3,147	194	954,211	10,027	324
江 別 市	118,969	-104	-17	57,218	631	28
石 狩 市	58,356	-149	-52	27,587	184	-23
北 広 島 市	58,644	-168	-51	27,532	259	-20
恵 庭 市	69,866	352	32	33,323	512	27
千 歳 市	97,082	283	22	49,240	617	10
石狩地区合計	2,369,634	3,361	128	1,149,111	12,230	346
苫 小 牧 市	171,792	-597	52	88,488	741	70
厚 真 町	4,599	-61	-11	2,151	-5	-5
む か わ 町	8,163	-213	-16	4,224	-61	-6
胆振地区合計	184,554	-871	25	94,863	675	59
営業区域合計	2,633,491	1,193	27	1,284,467	12,837	373

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

（資料出所：各市町村）

2 労働需給状況（平成30年11月）

（単位：人、％）

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	1,168	92,573	128	1,653	0	-1,209
月間有効求職者数	654	75,550	5	-1,652	7	-1,907
月間有効求人倍率	1.79	1.23	0.19	0.05	-0.02	0.02

（資料出所：浦河公共職業安定所）

3 建築確認申請（平成30年11月）

（単位：件）

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	8	2	3
(新ひだか町～広尾町)	30/4～30/11 累計	86	-6	

（資料出所：各市町村）

4 企業倒産状況(平成30年11月)

(単位: 件、千万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	2	18	1	16		
うち新冠町～えりも町	1	3	1	3		
北 海 道	18	200	-9	-263		
全 国	718	12, 127	41	-2, 439		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(平成30年11月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
139, 210	3. 85	-0. 26	52, 666	3. 96	1. 12

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	30年11月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	235	-9. 62	-23. 45
交換金額	410	30. 16	-10. 87
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

11月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	7. 0	96. 0	150. 9	1. 1	119. 0	123. 6	
広 尾	5. 8	67. 5	157. 5	0. 9	49. 4	106. 1	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(平成30年11月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町 静内	95, 626	-1. 5	45, 427	1. 1	141, 053	-0. 7
新ひだか町 三石	16, 815	-2. 4	11, 865	12. 6	28, 680	3. 3
浦 河 町	58, 881	-1. 6	26, 688	-3. 2	85, 569	-2. 1
様 似 町	22, 195	-5. 2	11, 709	-4. 4	33, 904	-4. 9
え り も 町	24, 017	-1. 3	11, 448	2. 9	35, 465	0. 0
広 尾 町	31, 029	-2. 1	14, 008	-5. 6	45, 037	-3. 2

* 広尾町は30年10月分

(資料出所: 各町)

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくために、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。

今回は、林業分野の取組について紹介します。

■「ツリー一点灯式」の実施について

日高振興局では、地域の子供たちが「木とふれあう」ことで、「木」や「森」に興味を抱くきっかけとなるよう、12月4日（火）に浦河ショッピングセンターMioで、クリスマスツリーの点灯式を行いました。

当日は、えりも町内で間伐されたトドマツのクリスマスツリーに、浦河町内の幼稚園・保育園児たちが飾り付けを行い、その後、園児達のダンスや演奏の発表がありました。



ツリーに飾り付けをする園児たち



園児達のダンスや演奏発表



サンタさんからのプレゼント

■管内各地での木育活動について

日高振興局では、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組である『木育』を、地域の皆様とともに推進しています。豊似湖やアポイ樹木園など道有林での観察会や出前授業、地域材を使った木工体験等、森林や木で学び楽しめる様々な活動を行っていますので、今年の様子を紹介します。



豊似湖一周森近感ウォーキング2018
(えりも町)



様似・冬島両漁協支所女性部「お魚殖やす」
アポイ樹木園植樹活動 (様似町)



「山の日」制定記念・森林室庁舎を活用した
夏休み木工教室 (浦河町)



地元のボランティア団体と連携し町民親子と
しいたけの植菌体験 (新冠町)



判官館森林公園「げんきの森」での小学生森
林教室 (新冠町)



地元NPOやボランティア団体、各町連携し
た植樹活動 (新冠町・えりも町)

『木育』についての御相談、お問い合わせは、森林室主査(木育推進・Tel0146-22-2452)まで。

インフォメーション

※ 浦河町内で住宅新築・リフォームをお考えの方へお知らせ。

住宅ローン『特別優遇金利』取扱開始！！

●子育て世帯の「住宅新築・リフォーム」を特別優遇金利で応援します！

●通常の優遇金利とは別に0.10%の特別優遇

●特別優遇金利適用対象者

「浦河町住宅新築・リフォーム等支援補助金」の交付対象者の方に、特別優遇金利で支援します。

※ただし、子育て世帯に該当する場合の補助金交付対象世帯とします。

●特別優遇金利の適用期間

《住宅ローン》

固定金利特約型を選択の場合、選択した固定金利特約期間(3年・5年・10年のいずれか)の間とします。

《リフォーム・無担保住宅ローン・フリーローン》

選択した返済期間の間とします。

※ 別途、保証会社(一般社団法人しんきん保証基金)へお支払する保証料が必要となります。

※ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきん健康サポート預金

お取扱期間:平成30年8月1日(水)～平成31年7月31日(水)

健康サポート定期預金		健康サポート定期積金	
お預入金額	1口10万円以上 100万円以内	お預入金額	毎月5,000円以上 30,000円以内
お預入期間	1年(自動継続扱い)	ご契約金額	60,000円以上 1,800,000円以内
お預入利率	スーパー定期預金300万円以下1年ものの店頭表示利率に0.10%上乗せ	ご契約期間	1年以上 5年以内
お預入条件	新規お預入れのほか、要求性預金(普通預金等)、既存定期預金からのお預入れも可能です	お預入利率	店頭表示利率に0.10%上乗せ
年1回、「健康診断」を受けましょう！		お預入条件	新規お預入れのほか、既存定期積金満期金のご継続商品としてもご利用いただけます。

健康で豊かな人生をお送りいただくため、特定健診・健康診断等を受診する方を当金庫がしっかりサポート！

※ 詳しくは、当金庫窓口にお尋ねください。



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西1丁目83の59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町1丁目1の15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町197の23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014 様似郡様似町大通2丁目35の2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町170の1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通8丁目7の1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル4階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」のATMが設置されています。

土曜日 ATM 稼働店：本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内1階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31の2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>